

# 実社会対応プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

◆課題:「忘却に関する学際的研究と社会対応基盤の構築」

◆研究テーマ:「忘却するWeb情報提示機構の実装と認知的・経済的価値の評価」

研究期間: H30.10~2021.9

委託費総額: 13,958千円

## <研究代表者>

森田純哉: 静岡大学情報学部 / 准教授



<専門分野>  
認知科学・認知モデリング

<Webページ>  
acml-shizuppi.net

## <研究計画の特徴>

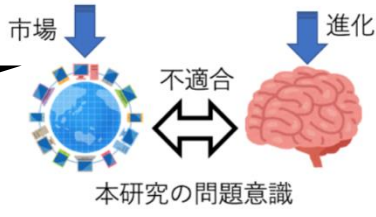


## 学際的研究チーム

- 検索エンジンへの認知科学的知見の統合により、情報社会の進展を学術的に先導
- 人間性の理解に立脚した新たな経済理論の展開

## <研究目的・概要>

忘却される権利に関わる社会的合意の必要  
進化的に獲得された人間の環境適応機構と現代の情報環境の不適合



## プロトタイピングおよび 実証的知見の蓄積

- 人間の記憶特性を取り入れたWeb環境のプロトタイピング
- プロトタイプ環境の認知的情動的価値の評価
- プロトタイプ環境の経済的価値評価
- ポータルサイト等への社会実装

## 忘却可能なWebの制度設計に貢献

忘却を要する情報が自然に忘却される仕組みの構築

## <目標とする研究成果>

- (1) 認知的な記憶のメカニズムを組み入れたWeb情報環境による自然な忘却の実現  
忘却曲線・記憶の抽象化・ブレンディングを取り入れた情報提示
- (2) 忘却するWebの認知的、感情的、経済的価値の解明  
パラメータや課題を操作した実験および調査の実施
- (3) インターネット上での集団記憶の形成に関わる価値を解明  
ポータルサイト等を利用した社会レベルでの実証実験の実施

## <将来展望>

基礎研究に基づく社会制度の設計論の構築  
新たな学際的なテーマの成立